

八雲立つ出雲から陽が昇る

水の総合管理システムやくも水神とhappy gate門番が先駆となり

世界平和への潮流を!!









出雲、沖縄、そして女性初のノーベル平和賞受賞者 ベルタ・フォン・ズットナーの像で 縁が結ばれたヨーロッパから世界平和への潮流を生み出すことをめざして、 昨年11月の「八雲立つ 出雲から陽が昇る」に引き続き、シンポジウムを開催いたします。

SYMPOSIUM

シンポジウム

11/17火

- **■**13:00~18:00
- ■太陽ホール(小松電機産業内)

八雲立つ出雲から陽が昇る

- ●13:00 ~ 13:20 主催者挨拶
- ●13:20~14:20 イップ常子さん講演
- ●14:20 ~ 14:50 『悠久の河』贈呈式と 村尾靖子さん講演

<休憩>

- ●15:00 ~ 16:30 パネルディスカッション コーディネーター: 磯江公博 パネリスト: イップ常子、村尾靖子、中村新一郎、
 - バネリスト: イツノ常子、村尾娟子、中村新一 佐藤京子、
- コメンテーター: 小松昭夫 ●16:45 ~ 18:00 懇親会

【講師プロフィール】

◇イップ常子

1949年、広島市生まれ。1973年、ウィーン大学へ留学。2001年、オーストリア公認国家ガイド資格取得。オーストリアと日本の懸け橋として、主に相互の文化交流イベントをはじめオーストリア国内、チュコ、ハンガリー、スロパキアなど近隣国への観光案内・通訳に従事。趣味はウィーンならではの民族衣装の裁縫、磁器の絵付け、ザッハトルテ等のケーキ作り。

◇村尾靖子

1944 年山口県生まれ。4人の子育て中に執筆開始。ノンフィクション『クラウディアの祈り』(ポプラ社) がテレビドラマ、舞台でも話題になる。読み物作品に『命を見つめて』『草原の風になりたい』(ともに岩崎書店)、絵本の作品に、『おじちゃんせんせいだいだいだいだーいすき』(今人舎)『クラウディアのいのり』(ポプラ社、第14回日本絵本賞読者賞受賞)などがある。1994年、島根県文化奨励賞受賞。島根県江津市在住。



イップ常子



村尾靖子



中村新一郎



佐藤京子



磯江公博



開催あいさつ

第二次世界大戦終結から70年を迎え、北東アジアにおいては、南京大虐殺の世界記憶遺産への登録、慰安婦問題をめぐる動きなど歴史問題がますます深刻になっています。また、ヨーロッパ、中東では難民が大きな問題となっています。

日本では、安保法制の成立にともない憲法をめぐる議論が高まり、沖縄の米軍基地移設問題などが大きな問題になっています。 さらに、ヨーロッパでは受け入れが続いている難民を、日本が全く受け入れていない現状がクローズアップされています。

米国・露国・中国の3大核大国の結節点である朝鮮半島の対岸に位置する出雲は、古代日本発祥の地のひとつといわれ、悠久の昔から、人の出会いによって新たな価値を創造し続けてきた「縁結びの国」です。この地から、共感のステージをととのえ、対立を統合・発展に導く「新しい和の文化」によって、世界の「終戦」をめざす時を迎えています。 今、私たちに、未来責任を果たす究極の見識が問われています。

出雲から沖縄、そして女性初のノーベル平和賞受賞者であり、第1次世界大戦前のベストセラー小説『武器を捨てよ』の著者、ベルタ・フォン・ズットナーの像が生まれたヨーロッパから世界平和への潮流を生み出すことをめざして、昨年11月の「八雲立つ 出雲から陽が昇る」に引き続き、シンポジウムを開催いたします。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしています。

小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所 代表 **小松昭夫**



オープニング 主催者挨拶



イップ常子様講演 「周藤彌兵衛翁 263 年 ベルタ・フォン・ズットナー 101 年」



村尾靖子様講演 「本は世界の共通語 一本で繋ぐ世界を夢見て一」



「切通し」絵画お披露目





八雲立つ 出雲から陽が昇るシンポジウム 2015.11.17

パネルディスカッション





パネルディスカッション



交流会





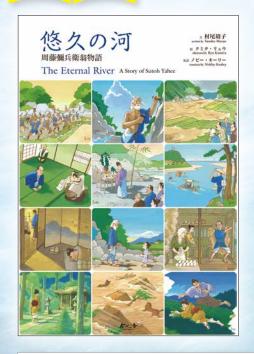
交流会





2015 今人舎<mark>の近刊</mark>

誠実に事を成し遂げる日本人の素晴らしさを世界に!



たった1人で42年。 川の流れを変えた八雲立つ出雲の偉人・周藤彌兵衛の物語。

悠久の河

周藤彌兵衛翁物語 The Eternal River A Story of Sutoh Yahee

文 村尾靖子 絵 クミタ・リュウ 英訳 ノビー・キーリー 全79頁 定価 2,500 円+税 2015年 絶賛 発売中



42年間1人で山をけずり、97歳で切り通しを完成・暴れ川の流れを変えた 偉人、周藤彌兵衛の物語。地元の作家、村尾靖子の文章に、漫画家クミタ・ リュウが渾身の書き下ろし。日・英対訳。信念をもち、誠実に事を成し遂げる 日本人の素晴らしさを、世界に英語で語ってほしい。そんな思いを込めた1冊。

●村尾靖子

作家。1944年、山口県生まれ。結婚後、4人の子育て中に執筆活動を開始。1994年島根県文化奨励賞受賞。 作品に『命を見つめて』『草原の風になりたい』(岩崎書店)、絵本『琴姫の涙』、『おじちゃんせんせい だいだい だーい すき』(今人舎) 『クラウディアのいのり』(ポプラ社、日本絵本賞読者賞受賞) などがある。

・クミタ・リュウ

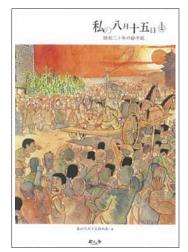
漫画家。1940年、岐阜県生まれ。1975年日本漫画家協会賞・優秀賞、同賞大賞、1977年モントリオール国際漫画家 展1位、1981年読売国際漫画大賞、1988年イギリス・ワディントン国際漫画家展1位など各賞受賞。東京新聞、中日新 聞、共同通信に政治漫画を執筆中。日本漫画家協会理事。

• ノビー・キーリー (Nobby kealey)

イギリス・マンチェスター出身。シェフィールド大学にて日本語を専攻。来日後はカメラマンとして活躍する一方、 英語教師のほか、その味のある容姿を生かし数々のテレビCMに出演。現在松蔭学園イングリッシュ・スクール校長。

私の八月十五日

昭和二十年の絵手紙



漫画家や著名人らが文と絵で語り継ぐ昭和 二十年八月十五日・終戦の日の記憶集

ご寄稿者:

高倉健、黒柳徹子、松本零士、ちばてつや、 林家木久扇 他 70 名以上

- ① 昭和二十年の絵手紙 著/私の八月十五日の会 全64頁
- ② 戦後七十年の肉声 編/8・15 朗読・収録プロジェクト実行委員会 全48頁
- ③ **戦後七十年を過ぎても** 編/8・15 朗読・収録プロジェクト実行委員会

マンガ外交

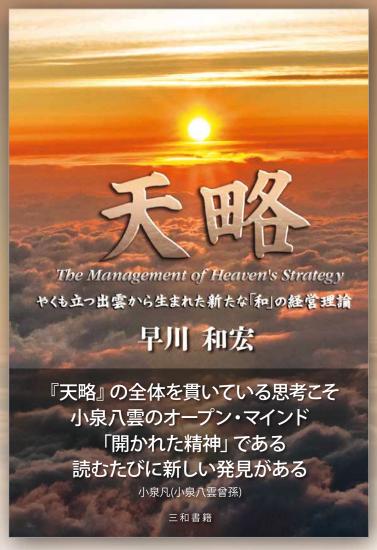
南京大虐殺記念館からはじまった



南京大虐殺記念館からはじまった 漫画家たちのマンガ外交。赤塚不二夫、ちばてつやら、幼年期を中国で過ごした引揚げ者である漫画家たちを中心に結成された「私の八月十五日の会」。同会の漫画家たちによって開催された南京市での「私の八月十五日展」を、エピソードを交えて紹介。

著 / 石川好 編集 / こどもくらぶ 全 144 頁





世界のフィランソロピスト20人にビル・ゲイツとともに選ばれた小松昭夫

天子経略とは、天子に求められる

もっとも理想的な治世を現実するための管理法・経営原理である

2013年、オランダ・ハーグにある「平和宮」建立 100 周年を記念して「世界のフィランソロピスト(指導的慈善事業家)20人」の選定が行われた。

選ばれたのは、平和宮の寄贈者でもある実業家アンドリュー カーネギーをはじめ、アルフレッド・ノーベル、ヘンリー フォード、J·D·ロックフェラーに加え、テッド・ターナー、 ビル・ゲイツといった古今東西知らぬ者のない顔ぶれ。 そのなかに二人の日本人がいた。ひとりは立命館大学平和 ミュージアムの建設に寄与した平和運動の指導者で眼科医 の中野信夫氏(故人)、そしてもうひとりが本書で焦点を当 てる小松昭夫氏だ。小松氏は島根県松江市に本拠を置く小 松電機産業株式会社の創業者。20代の起業以来40年、自 治体の水情報ビジネスや応用範囲の広いシートシャッター などを手がけ、その前年、2012年には「新産業創造」によ り藍綬褒章を受賞。一方で歴史問題を正面から捉え、地元 出雲から隣国の韓国・中国、そして世界に交流の輪を広げ、 平和の事業家としての活動を積み重ねてきた奇才。本書で は、小松氏がみずから会得し、その行動の根幹をなす究極 の思考・「天略」を軸に、この類い稀なる事業家の姿とあゆ みを浮き彫りにする。

出版 三和書籍 著者 早川 和宏 全 440 頁 定価 2,500 円+税

早川和宏 (はやかわ かずひろ)

1948年生まれ。立教大学経済学部にてマルクスの哲学および弁護法・マックスウェーバーの社会学を学ぶ。卒業後、社会派ジャーナリストとして活躍。心の変革、社会の変革を目標に掲げ、幅広いテーマに取り組んでいる。ひとりシンクタンク「2010」代表。

主要著書として『魔法の経営』『日の丸ベンチャー』(三和書籍)、『会社の品格は渋沢栄一から学んだ』(出版文化社)など。訳書として、ミナ・ドビック著『ミラクル』(洋泉社)。

島根核発電所

原発 その光と影



安全なら電力消費の多い都市部に造るはずの原子力発電所は、日本では最新科学と電源三法の名のもとに過疎地に造られた。村上春樹氏は「原子力発電所を核発電所と呼ぼう」、ノーベル物理学者益川敏英氏は「科学者から見れば、原発は商業ベースに乗ってない技術」と言っている。

販売 三和書籍 出版 HNS 研究所著者 山本 謙 編集 古浦 義己

全 376 頁 定価 4,500 円+税

出版予定書籍のご紹介

対立から共生へ

小松昭夫の「和の文化」の理念と実践



独特な起業家小松昭夫が衆知を集め、対立統合発展を繰り返し、世界の工場の環境改善に必要不可欠なシートシャッター門番とクラウドの先駆け総合水管理システムやくも水神の2つの新市場を生み出した。その経験を活かし「和の文化」創造に挑戦する平和事業家へ

出版 北京學苑出版社 著者 張 可喜 編集 魏 亜玲

全 232 頁 定価 1,500 円+税

インドネシアの日本軍「慰安婦」にて展示



2015年11月16日山陰中央新報一面



にた形だ。2日の日韓首 たっぱいた形だ。2日の日韓首 たっぱいた形だ。2日の日韓首 たっぱい 一日の日韓首 たっぱい 一日の日韓 100 日東 100 日

だっ」

「一大学」

「一大学

「一大学」

「一大学

「一大学」

「一大学

明治大学前「キッド・アイラック・アート・ホール」 2015 年 10 月 10 日~25 日 **日本初開催! ヤン・バニング写真展: インドネシアの日本軍「慰安婦」**



日本軍の「慰安婦」にされたインドネシア女性たちの眼差しを捉えたComfort Women(英語で「慰安婦」)シリーズは、2010年に発表されて以来、本国オランダのみならず、インドネシア、米国、ドイツ、フランスで写真展が開催されてきました。大きな評価を得た一連の作品は、アムステルダム国立美術館(Rijksmuseum)でもコレクションとして所蔵されています。

オープニングには、ヤン・バニングとともに、「慰安婦」にされたインドネシアの女性たちを調査、聞き取りしたヒルデ・ヤンセンを招きます。この機会にぜひご覧ください。

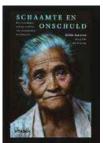
●ヤン・バニング/Jan Banning

アーテイスト/写真家。 蘭領東インド(現インドネシア)出身

の両親のもとに生まれたこと、大学で歴史を専攻したことがテーマやその手法に影響を与える。祖 父と父が日本軍による強制労働の被害者で、父を含めたオランダ人とインドネシア人の強制労働 被害者をとらえた「Traces of War」シリーズ、アフリカ・マラウイの最も貧しい人々、あるいは官僚 主義や刑事司法など、権力や戦争の陰で見えなくされてきたものを問う作品を発表してきた。国際 的に大きな評価を得ており、雑誌での掲載や受賞も多数、国内外の美術館で作品が所蔵されて いる。1954年生まれ、オランダ在住。

●ヒルデ・ヤンセン/Hilde Janssen

ジャーナリスト/文化人類学者。1991年からインドやインドネシアに20年近く住み、オランダメディアの現地駐在記者、開発分野のコンサルタントやリサーチャーとして働く。ヤン・バニングとは古くからの友人で、「Traces of War」プロジェクトの調査を担ったことをきかっけに、2007年から日本軍「慰安婦」の調査・聞き取りを開始。2009年には "Schaamte en onschuld: Het verdrongen oorlogsverleden van troostmeisjes in Indonesië"(恥辱と潔白ーインドネシアの「慰安婦」の抑圧された戦争の過去)(Nieuw Amsterdam)を出版した。近著は戦後にインドネシアに渡ったオランダ人女性の物語。1959年生まれ、オランダ在住。







2015年10月ユネスコ世界記憶遺産

東寺・南京・舞鶴3箇所同時世界記憶遺産指定の真意は?

1. 東寺 無関心

国連教育科学文化機関(ユネスコ)の「ユネスコ世界記憶遺産」に、日本ユネスコ国内委員会 文化活動小委員会ユネスコ記憶遺産選考委員会が申請した「東寺百合文書(ひゃくごうもんじょ)」 (京都 東寺に伝来した文書。中世社会の全体構造を解明する基本史料として質量ともに最も優れ た文書史料群)

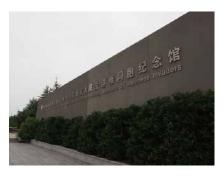






2. 有 元 2015年10月9日登録 日本抗議

国連教育科学文化機関(ユネスコ)の「ユネスコ世界記憶遺産」に中国が申請した「南京大虐殺文書」







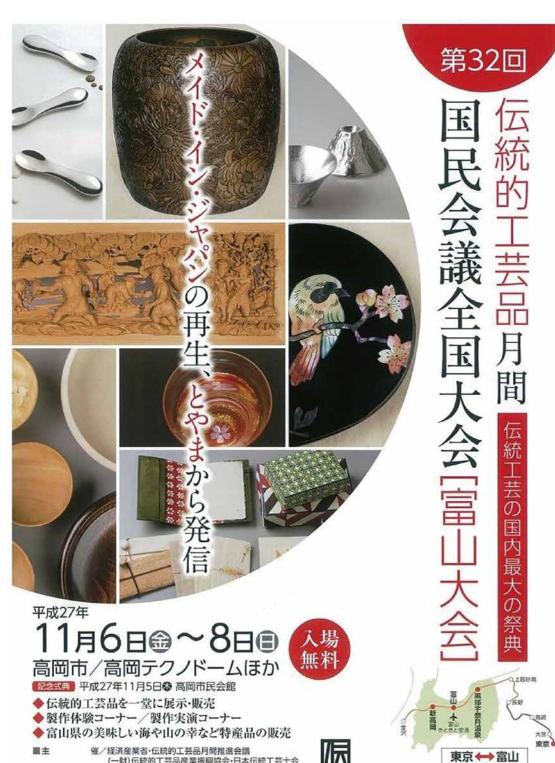
3. 舞像 ロシア抗議

国連教育科学文化機関(ユネスコ)の「ユネスコ世界記憶遺産」に舞鶴市が申請したシベリア 抑留と引き揚げ関係資料「舞鶴への生還 1945-1956 シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げの記録」









催/経済產業省·伝統的工芸品月間推進会議 (一財)伝統的工芸品產業振興協会·日本伝統工芸士会 富山県伝統的工芸品月間推進協議会(仮称)

■お問い合わせ先/富山県商工労働部経営支援課 地域産業係 TEL076-444-3249 FAX076-444-4402







八雲立つ 出雲から陽が昇るシンポジウム 2015.11.17



●小松電桜産業株式会社

http://www.komatsuelec.co.jp/

